

経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県佐賀市 佐賀市立富士大和温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
228,042	8,392	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

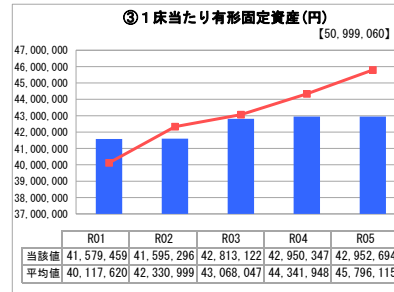
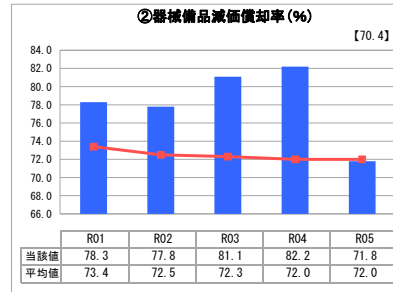
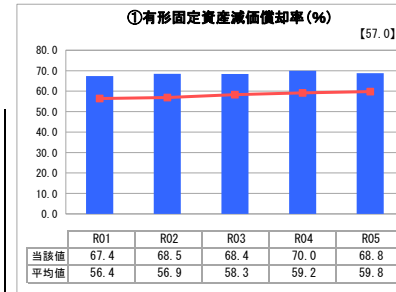
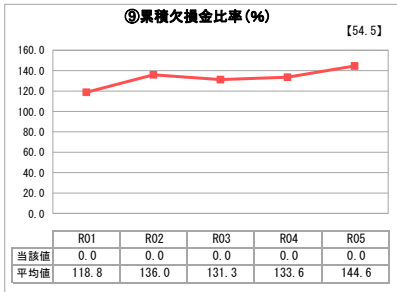
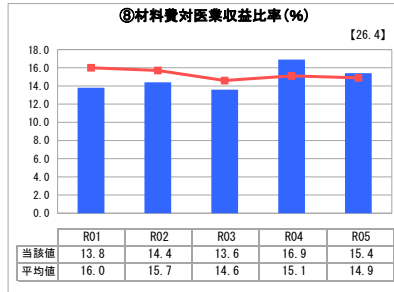
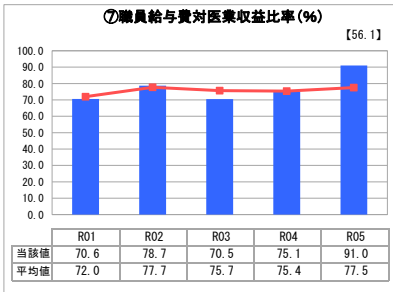
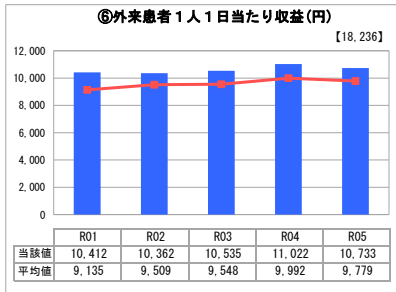
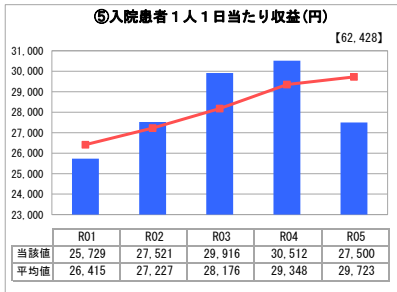
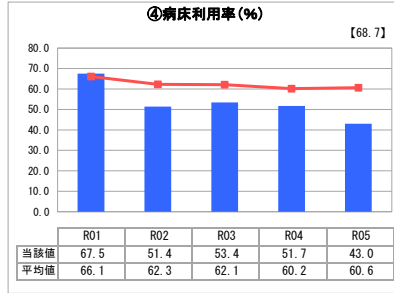
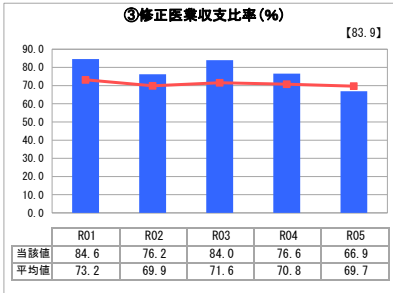
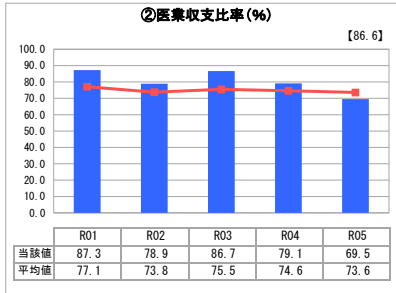
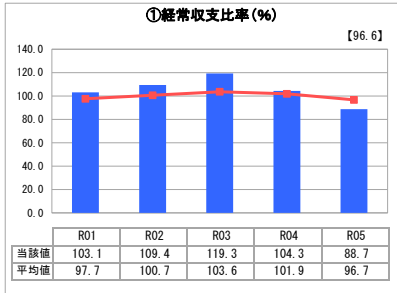
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	38	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
39	16	55

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の規模・ネットワークを考慮)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

不採算地区である過疎地において医療を提供するとともに、救急告示病院及び病院群輪番制病院としての近隣地域における休日・夜間等の救急医療の機能維持を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収益は、5年度も新型コロナウイルス感染症の影響等により、入院・外来ともに患者数が減少したこと、当初の見込んだ収益に届かず、また病床確保料等補助金も感染症法上の分類見直しに伴い減額となり、収入全体で大きな減収となったことで、経常収支率は100%を大きく下回った。
病床利用率は低下傾向が続いているため、紹介入院患者や救急搬送患者を積極的に受け入れることで健全経営の柱となるの医業収益の増加に努めたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は建物附属設備等の減価償却進捗に伴い類似病院平均より高い状態になっているが、器械備品減価償却率については令和5年度に大規模投資（電子カルテシステム更新）を実施したため数値が低下した。
今後も毎年実施している診療用等の医療器械の更新状況調査により、更新が必要となる時期を把握し、計画的な更新に努めたい。

全体総括

地域の自治体病院としての役割を果たす一方で、患者数の減に伴う医業収益の減少や補助金の廃止等により、経営は厳しい状況となり、経営の健全化には至らなかった。
経営の健全性を確保するための対策として、令和5年度末に策定した「佐賀市立富士大和温泉病院経営強化プラン（令和6年～9年度）」により、地域医療の拠点たる役割、機能を堅持しつつ、公立病院としての役割を果たすために、種々の手立てを検討して、増収対策に取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。